

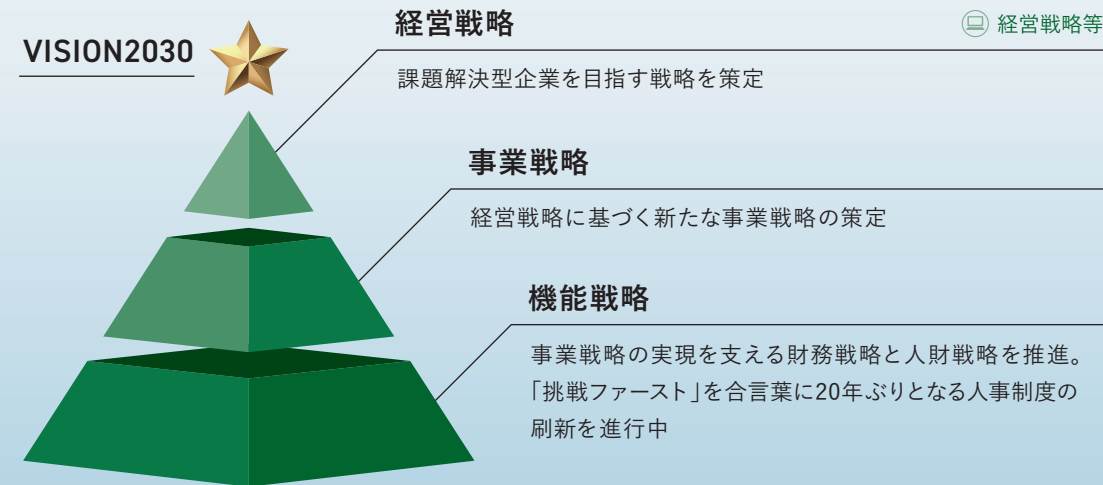
長期経営ビジョン

VISION2030

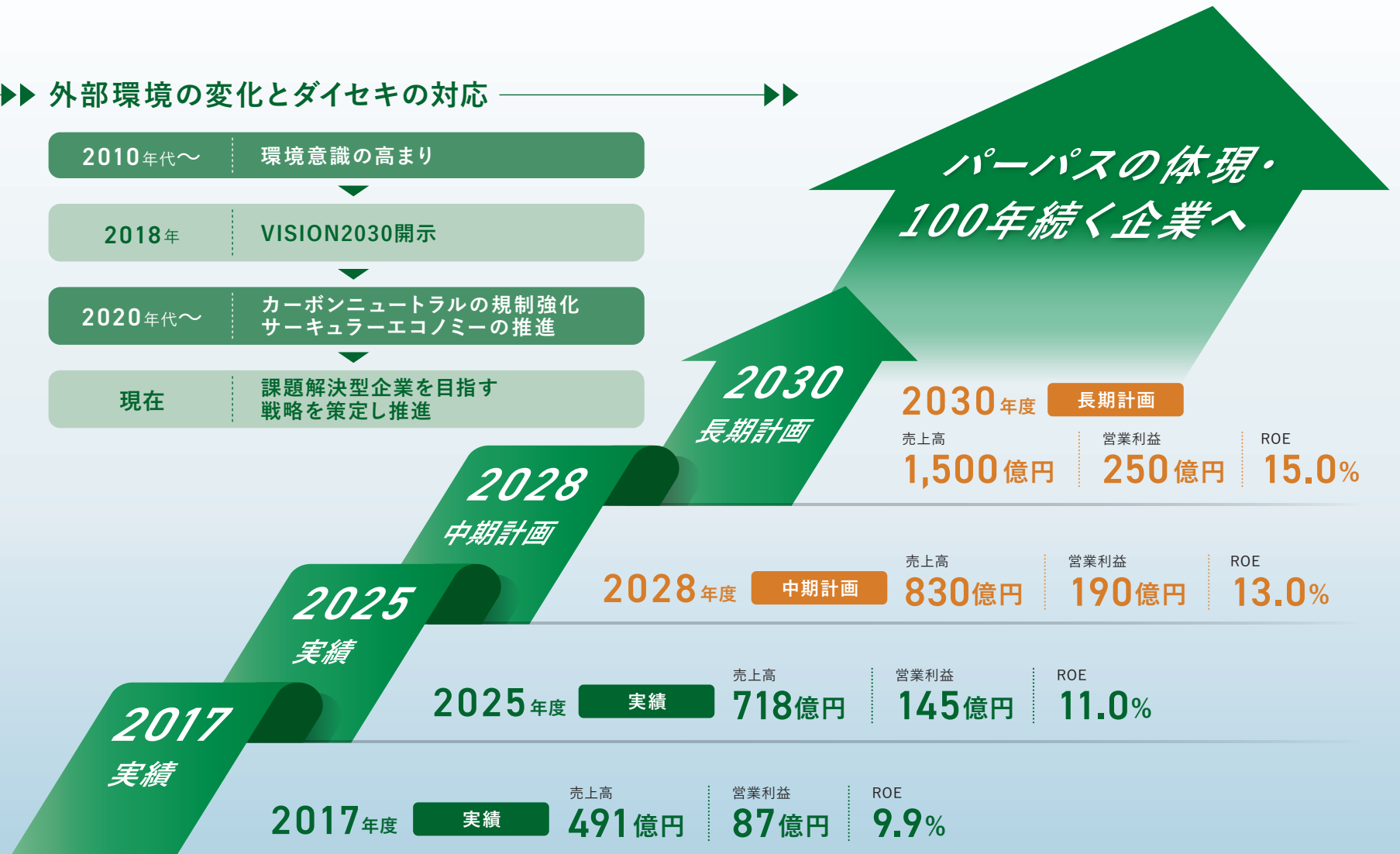
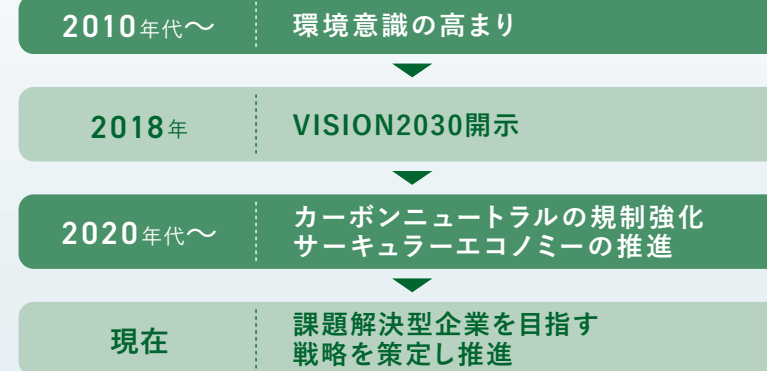
2017年度比で売上高3倍・営業利益3倍・ROE15%を目指す。

2010年代以降の環境意識の高まりなどによる外部環境の変化とさらなる飛躍のため、ダイセキは2018年6月に長期経営ビジョンであるVISION2030を策定しました。その後国内でもカーボンニュートラルに向けた政策が強化され、サーキュラーエコノミーに向けた取り組みがスタートしました。ダイセキグループはこのような外部環境を踏まえながら、課題解決型企業を目指す戦略を策定し推進していきます。

VISION2030達成のための戦略の基本構造



外部環境の変化とダイセキの対応



目指す姿に向けた具体的な目標と施策の進捗状況

2026年4月の決算発表で開示したVISION2030の具体的な目標と進捗状況は以下の通りです。

1 3事業拠点の拡充

広島事業所
2024年3月稼働開始、2025年度黒字化



2 3つの新たな主力事業の確立に向けた進捗状況（2026年4月開示）

▶ 扱い品目の拡大

気体(MOF)

2026年1月にSyncMOFの事業を譲受し、
液体ビジネスから気体ビジネスに事業領域を拡大

	2026年度	2030年度
売上高計画	1億円	10億円
営業利益計画	0.5億円	3億円

廃プラスチック事業

2025年1月に、ダイセキ環境ソリューションが静岡県プラスチック資源
再商品化連携事業者(連携協定締結先)の最優秀提案者に選定

	2026年度	2030年度
売上高計画	-	17億円
営業利益計画	-	5億円

▶ M&Aの検討

ダイセキの顧客基盤や技術力を活かすことでシナジーの創出が期待できる
企業や、ダイセキにはない強みを持つ企業のM&Aを検討

	2027年度	2030年度
売上高計画	200億円	250億円
営業利益計画	20億円	25億円

▶ 杉本商事のM&A

2023年4月に、ダイセキ環境ソリューションが杉本商事を子会社化し、廃プ
ラスチックリサイクル事業・一般廃棄物収集運搬事業・古紙回収事業へ参入

	2026年度	2030年度
売上高計画	22億円	28億円
営業利益計画	3億円	4億円

▶ その他サーキュラーエコノミー関連ビジネス

鉱物油のサーキュラーエコノミーに向けた事業を検討

	2026年度	2030年度
売上高計画	-	8億円
営業利益計画	-	3億円

合計

	2030年度
売上高計画	313億円
営業利益計画	40億円